

外国語科で活用する

本場面におけるポイント

- **コミュニケーションについて考えるきっかけとする**
外国語の学習にあたり、積極的に自分の考えを伝えたり、相手の考えを理解したりするなど、コミュニケーションを図ろうとする態度をもたせ、学習意欲を高める。
- **多様なものの見方や考え方を理解し、国際協調の精神を養う**
我が国や世界の言語や文化に対する関心を高め、これらを尊重する態度を育てることで、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養う。



● 外国語学習の意義・コミュニケーションの意義について考えさせる (第1学年)

- 1 題材名 外国語学習の意義について考えよう (オリエンテーションの終末で使用)
- 2 ねらい 「ことば」は心と心を結ぶものだからこそ、相手を「知りたい」、相手に「伝えたい」という気持ちが大切であるということに触れる。
- 3 指導計画 (1時間) と「心のノート」活用の実際



中学校用P.68～69

年度当初の授業のオリエンテーションで、**中学校用P. 68～69「コミュニケーションは心のキャッチボール」**を読み、考えたことをアンケート用紙に、今後の学習の目標として書き留めた。

中学校での「読むこと」「書くこと」も含めた今後の学習に向け、知識や技能の習得だけではなく、実際にそれを運用していくためには、ジェスチャーやアイコンタクトなどの非言語コミュニケーションによる意思の伝達も含め、コミュニケーション能力の基礎を養うことが重要である。

～生徒の感想より～
私は英語を話せるようになったり、書けるようになったりしたいと思っています。やる気を大切に、相手の話がちゃんと聞き取れるようにがんばりたいです。

このページには「人とかかわりにしりごみしているとあなたの気持ちは伝わらないし、あなたも相手の思いを受け取ることはできません。」とある。外国語をよりよく学習するために、伝えようとする気持ちや受け取ろうとする気持ちを大切にすることを押さえ、言葉が国を越え、人と人を結ぶものだという事を感じさせ、意欲を持って外国語学習に入らせたい。

国際理解を深め、自分の日々の生活について、改めて考えをめぐらせる

● 伝統文化・習慣を知り、国際交流を考えた事例 (第3学年)

- 1 題材名 世界・日本の伝統文化を知り伝えよう
- 2 ねらい 日本や郷土で育まれてきた伝統文化のよさについて理解を深め、国際社会の中で日本の独自性を持ちながら世界に貢献していくことの大切さについて考える。
- 3 指導計画 (4時間) と「心のノート」活用の実際

- 第1次 文化・習慣について知る
・世界の国々の文化・伝統を紹介するスピーチを聞く。

中学校用P. 128～129「世界の平和と人類の幸福を考える」に、外国の文化を知り、感じたことを欄に記入する。

- ・グループに分かれ、外国の人々に日本文化を紹介するスピーチを作成することを伝え、発表内容や分担を決める。

～生徒の感想より～
たくさんの国があって、たくさんの文化があって、たくさんの伝統があることはすてきなあと思いました。その文化を体験するとさらに交流が深まると思います。

中学校用P. 124～125「我が国を愛しその発展を願う」を見て、自分たちの日々の生活の中の「日本文化」について考えさせる時間を設定し、これからの発表準備へ向け、気持ちを高める。

- 第2次 原稿・発表準備・グループ内リハーサル
第3次 原稿を作るだけでなく、聞いている人にとってわかりやすくなるよう工夫させる。



中学校用P.124～125

- 第4次 発表会 ・発表を行い、内容について質問やコメント・評価を行う。

発表会を行った後、**中学校用P. 136～137「日本人としての自覚をもって」**を見て、真の国際人としての自分の役割について考える。

私たちの日々の生活の中には、外国の人々や異文化と接する機会が多くある。我が国や世界の生活や文化について理解を深めるとともに、日本の文化について発表する経験を通じて、魅力ある日本の伝統や文化について伝えていく立場であることを再認識し、一人一人が日本人として、真の国際人として担っている役割について考えさせる。



中学校用P.136～137